



佐渡の教育の課題について

教育長 小林 祐玄

市の学校教育は『佐渡市学校教育基本構想』にある3つの目標「意欲をもち、確かな学力を付ける教育」「郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育」「生きがいを見付け、自立を目指す教育」をよりどころとして「確かな学力を身に付け、夢と誇りをもって自立する人づくり」の実現を目指しています。

この目標に対しての課題は次の3点です。

- 課題1 数値としての学力が学年が進むと低くなる。また、全体として思考力を伴う学力が低い傾向にある。
- 課題2 「いじめ・不登校の解消」は喫緊の課題である。
- 課題3 郷土を愛し、勤労観・職業観をはぐくむ必要がある。

いずれも早急に改善していく課題であると考えています。

例えば、課題1では、質の高い授業がなされているか、家庭学習(宿題)の時間が確保され、子供たちに定着しているかという問題があります。

課題2では、自己有用感や社会性を高めたり、規範意識や倫理観の醸成に努めたり、子供たちや保護者との信頼関係が確立されているかという問題があります。

課題3では、郷土のよさを理解し、職場見学や職業体験を充実し、自分に自信のもてる子供を育成しようとしているかという問題があります。

どの課題も一朝一夕で克服できるものではありませんが、子供を愛し、保護者や地域の方々との連携を深め、少しでもよりよい学校の構築を図りたいと思っています。

身なり、立ち居振る舞い

管理主事 新発田 靖

今年度の学校訪問ありがとうございました。きちんとした身なりで、素敵な立ち居振る舞いをされている先生方の姿を拝見し、「子ども・保護者・地域の方々から信頼されているんだろうな」と思いました。自分も見習わなければと思います。

先日、「着用禁止の職務命令に一定の合理性(坂田仰、黒川雅子)」(日本教育新聞平成26年2月24日付け)という記事を読みました。内容は、反戦ポロシャツを着て研究発表に臨むことに対しての判決にかかわる内容でした。その記事の締めくくりは、「教員が主張する通り、服装はそれを着用する個人の価値観と密接に結び付いている。だが、それは絶対的な自由ではない。対外的な関係から、校長の『所属職員監督権』の統制下に置かれることがあることを見落としてはならない。」と、ありました。この記事の問題と質は違うのですが、自分が若い時にジャージ姿でPTAの会議に出て、先輩に叱られたことを思い出しました。6時間目が体育で、そのまま参加したのでした。保護者の方々が服装をどう思うかなどと考えたこともなかったのです。

学校の職員は常に周りから注目されています。最近は特に厳しく評価されるようになってきていると思います。大人として、公務員として、教員としてTPO(時間・場所・場合)をわきまえた身なりや立ち居振る舞いに気を付け、子どもはもちろん保護者や地域の方々から信頼されるように努めたいものです。



着実に向上している学力

指導主事 香遠 正浩

平成25年度は計画訪問や要請訪問に加え学校支援訪問でも授業を参観させていただきました。学校訪問や学習指導だよりで、「研究授業だけでなく、日々の授業においても『学習指導のポイント』や『Web過去問正答率』を踏まえた授業改善を」とお願いしてきました。

実際、どの学校も佐渡市の重要課題である学力向上に全校体制で取り組んでこられました。その成果が1月に実施した小学校NRT学力検査の数値に表れています。(下表参照)

中学校も含めすべての学校が目標とする学力水準に到達し、それを確保できるように、新年度、市教委では3点を推進します。

ア 学校支援訪問

訪問回数を増やし、主に「授業力向上」と「いじめ・不登校の未然防止」のための支援を年間を通じて行います。

全小中学校を6人の指導主事で分担します。中学校区計画訪問も同じ指導主事が担当します。

イ 学習支援ボランティアの拡充

授業中や放課後に限らず長期休業中も可能とし、教科も限定しません。地域の人材を活用し、児童生徒の確かな学力の向上につなげてください。教員の多忙化解消にもつながります。



ウ NRTの年度末実施

1年間の指導を年度内に評価し、補充指導もできるように、26年度から中学校も小学校同様1月にNRTを実施します。

市総合教育センター研修を終えて

教育指導主事 原 功治

平成25年度の教育センター事業にご協力いただきありがとうございました。

研修講座では年度途中での中止や研修方法に変更があったにもかかわらず、13の講座に参加していただいた人数は延べ496名で前年度並みの参加者数でした。また、自主研修講座や関連事業にも多くの学校から参加、協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

現在、新年度に向け研修講座の見直しを進めています。

○「授業の達人」養成研修講座

講座名を「授業力UP」研修講座に変更し、受講しやすい講座にします。そして、成果発表会を授業公開の形式に変更します。

○市町村支援事業

中学校数学の学力向上のために、26年度は県教委の協力を得て「数学授業力向上研修」を3回実施します。



なお、複数回実施した「生徒指導研修」については、佐渡市の重点課題解決の観点から26年度も2回の開催を予定しています。

最後に、関連事業として今年度も利用が多かった「学習意欲向上プロジェクト」は継続事業とします。先進校視察・講師招聘事業を引き続き活用いただき、この事業の趣旨である「学習意欲の向上」が図れるよう、各中学校区でご尽力くださいますようお願い申し上げます。

今後も参加者にとって有意義な研修会になるよう運営面等で努力したいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

速報

小学校NRTの結果

平成26年1月に市内全24校が実施したNRTの平均偏差値(50が全国水準)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	54.5	54.0	55.6	53.4	53.6	54.5	54.3
算数	56.1	54.2	55.7	53.6	55.3	54.9	55.0